

事務事業名		雲南市シルバー人材センター補助事業		所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)地域で支えあうらしづくり《保健・医療・福祉》		所属G	総務G	課長名	梅木郁夫
	施策名	(18)高齢者福祉の充実		担当者名	吉岡妙子	電話番号	0854-40-1041 (内線) 3612
	目的 対象	65歳以上の市民	意図 生きがいをもち、いきいきと暮らす。	予算科目	会計 011501 款 1501 大目 01 中目 52076 大事業名 中事業名 小事業名	地域福祉総務管理事業 雲南市シルバー人材センター補助金	
	基本事業名	(051)社会参加活動の促進					
目的 対象	65歳以上の市民	意図 地域とのつながりをもつ。					

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき組織された雲南市シルバー人材センターが、就労の機会と場の提供を行なうことにより、健康で豊かな老後の充実をはかり、地域社会づくりに寄与することを目的に取組む事業、活動に対して補助を行なう。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 人材センターの申請に基づき、補助を行う。 申請書の受理・審査・補助決定・補助金交付・実績報告(審査)・補助確定	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 前年度と同じ			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 補助金額	千円	9,000	7,400	7,400	7,400
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	シルバー人材センター会員	ア 65歳以上の高齢者数	人	13,760	13,771	14,035	14,035
		イ 人材センター正会員数	人	476	444	394	394
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
高齢者が就労を通して、健康で豊かな老後を送れるようにする。	ア 就業延人数	人	31,584	31,801	19,616	19,616	
	イ 就業率	%	93	94	91	91	
	ウ 作業契約金額	千円	151,403	149,279	108,999	108,999	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
事業運営に対する補助金:7,400千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	9,000	7,400	7,400
		事業費計(A)	千円	9,000	7,400	7,400
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1
		延べ業務時間	時間	4	4	4
		人件費計(B)	千円	16	16	16
		トータルコスト(A)+(B)	千円	9,016	7,416	7,416

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
高齢者等の雇用の安定等に関する法律により事業を実施している。 委託事業の選別により作業契約金額が減少した。会員の年会費の増額等努力がされているものの、経営は厳しい状況にある。	安全作業の徹底を図るため、安全研修と作業現場の安全パトロールを実施し、安全に対する意識高揚に努めた。 会員募集、仕事の募集について、広報誌掲載、文字放送を利用している。	事業対象者からは、当面経営が安定するまで補助額を維持して欲しいとの意見が寄せられている。 平成25年度からは、「公益社団法人」への移行により、会員のみにならず、広く高齢者の利益の実現を目的とした事業展開により、活動の拡充が期待される。

事務事業名	雲南市シルバー人材センター補助事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
-------	-------------------	-----	-------	-----	---------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	個人の収入額等を見ると、県内比較でも低く、受託量、金額等の増加を図る必要がある。平成25年度からは、「公益社団法人」への移行により、広く会員以外の高齢者への呼びかけにより、活動の拡充が期待できる。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	他に同様な事業がない。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	現在は補助金の交付事務を主としており、活動内容等の指導を行っていない。今後、補助の効率性から事業内容等の見直しの指導等を行うことにより、事務量の増が発生する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		高齢化が進行する中、働く意欲のある高齢者の就労機会を提供することは、生きがいの創造や個人収入に繋がっている。	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
<p>平成24年度からの健全運営に向けた対応を検討された。</p> <p>平成25年度から「公益社団法人」への移行により、広く高齢者の利益につながる事業の展開が期待できる。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。</p> <p>コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下は改革・改善とはならない。</p>																			